

患者様、ご家族様へ

現在、脳神経外科学分野では分子病理学分野と共同して、過去に診療を受けていただいた患者様のデータを用いた研究を予定しております。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は公表するようなことは一切ありません。何かご不明な点や質問がございましたら、末尾の相談窓口にお問い合わせ下さい。

研究課題名「病理画像における人工知能を活用した再発・転移・治療効果・予後の予測」

概要：病理標本スライドをデジタル化する技術は、近年、人工知能技術の適用にまで拡大しています。本研究では、人工知能を使用した最適な解析手法の確立ならびに画像データと病理臨床学的因子との解析を目的として、個別化医療への応用を目指します。実際の手法としては、悪性腫瘍をはじめとする様々な疾患の病理標本スライドを収集し、それを画像データ、数値データに変換し、人工知能技術（Support Vector Machine や Deep Learning）を使って予後等の病理臨床学的因子と照らし合わせて統計的解析を行います。研究期間は、公示時より 2022 年 9 月 30 日までを予定しています。

対象となる患者様

東京医科大学病院にて、2012 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に、悪性脳腫瘍の手術を受けられた患者様

公示予定期間 2021 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 10 月 31 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究では、過去の手術や生検時に病理診断検査のために作成され保存されている病理標本スライドと予後に関する臨床情報のみを使用いたします。新たに患者さんに行っていただく事はなく、費用もかかりません。得られた情報は匿名化処理を行い、研究結果の公表に際しても、個人情報は一切公表致しません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく下記の相談窓口へご連絡下さい。参加を辞退されることによって患者さんが不利な扱いを受けることは一切ありません。公示期間内に末尾にある相談窓口にお申し出下さい。

東京医科大学研究代表者 分子病理学分野 黒田雅彦、齋藤彰 他
東京医科大学分担研究者 脳神経外科学分野 深見真二郎、永井健太

（その他の学内分担研究者 泌尿器科学分野 大野芳正 他、乳腺科学分野 石川孝、山田公人 他、消

化器・小児外科学分野 土田明彦、勝又健次 他、呼吸器・甲状腺外科学分野 池田徳彦、大平達夫 他)
(学外分担研究機関 山口大学消化器・腫瘍外科、山口大学先端がん治療開発学、Weill Cornell
Medical College、NEC Laboratory America、(株)カイ、南京医科大学第一附属病院・江蘇省人民病院
他)

相談窓口

東京医科大学医学部分子病理学分野

電話番号 03 - 3351 - 6141 (内線) 234

代表者：黒田 雅彦